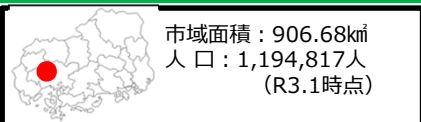


広島県広島市

テーマ:オープンスペースを活用したゆとりとにぎわいのある都心づくり



【立地適正化計画】
平成31年1月公表（都市機能誘導区域）
平成31年1月公表（居住誘導区域）
【都市再生整備計画（滞在快適性向上区域）】
令和3年3月公表

- 旧広島市民球場跡地におけるPark-PFI制度を活用したオープンスペースの充実、民間事業者による広島駅前のウォークブル空間の形成、都心全体の持続的なエリアマネジメント活動の実践等をそれぞれ推進することにより、ゆとりとにぎわいのある都心づくりを創出し、居心地が良く歩いて楽しく回遊できる環境づくりを進める。

○オープンスペースの充実

中央公園において、サッカースタジアムの建設を契機として、**中央公園全体の空間づくり及び回遊ルート**の形成に取り組む。このうち、旧広島市民球場跡地については、民間のノウハウを生かし、国際的な大会等が開催できる広場の整備やイベントの企画・誘致、**官民連携によるパークマネジメント**など、**ゆとりとにぎわいのある都心のシンボル空間を創出**。

イメージ図

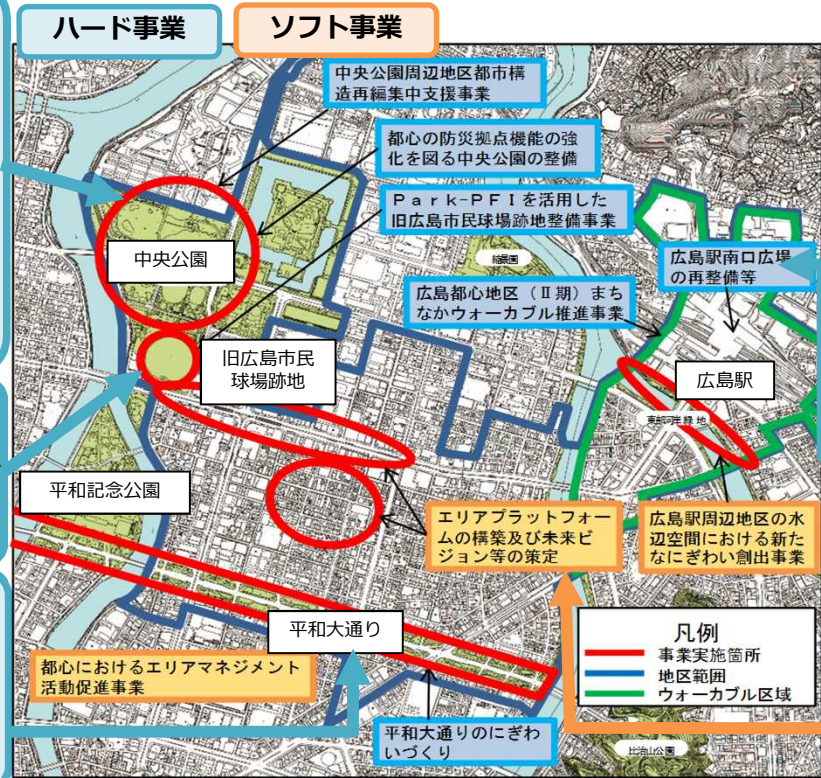


○テレワーク施設の整備

旧広島市民球場跡地において、イベント広場は、**市民や観光客等が日常的に憩えるよう**一定規模の屋根を備えたものとし、**テレワーカーにも対応できる無料公衆無線LANサービスを提供できるWi-Fi環境を整備**。

○平和大通りのにぎわいづくり

都心のシンボルロードである平和大通りにおいて、**道路空間である緑地部分を都市公園とした上で、Park-PFI制度の活用**などにより、オープンカフェなどの収益施設・園路・広場・植栽などの整備を行う。また、**多様な担い手と連携・協働したイベント開催等の利活用の取組**を推進。



下紙屋町周辺地区都市構造再編集中支援事業

可部地区都市構造再編集中支援事業



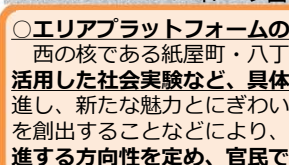
○エリアマネジメント活動の促進

再開発等で整備された公共空間等の利活用等を行うエリアマネジメント活動を促進し、**都心におけるゆとりとにぎわいを創出**する。

○広島駅前の官民連携によるウォークブル空間の形成

広島駅前の広場を拡張することにより、駅周辺に点在するバスの乗降場を集約するなどの再整備を行う。あわせて、広場や新駅ビルを中心に広島駅南口及び日本郵便の新ビル方面へのペDESTリアンデッキを設置することにより、**駅自由通路とつながる2階レベルの歩行者ネットワークを構築**。

イメージ図



○エリアプラットフォームの構築及び未来ビジョン等の策定

西の核である紙屋町・八丁堀地区において、**公共空間等を活用した社会実験など、具体的なアクションプログラム**を推進し、新たな魅力とにぎわいの創出に資するパブリック空間を創出することなどにより、**多様な人材の出会い・交流を促進する方向性を定め、官民で共有**。



都心が魅力的であると 思う人の割合

都心の魅力度を増加基調に
(従前値) 62% (平成28年度)
→ (目標値) 65% (令和5年度末)

中央公園の利用者数

中央公園の利用者数を平成6年度末までに
現在の474万人から600万人まで増加
(従前値) 474万人/日 (平成30年度)
→ (目標値) 600万人/日 (令和6年度末)

歩行環境の満足度

広島駅周辺地域や紙屋町・八丁堀地区に
おける歩行環境の満足度を増加基調に
(従前値) 40.3% (平成29年度)
→ (目標値) 41.1% (令和5年度末)